2013年・春
Vol.8

兵庫医科大学

医療現場の心を伝え、地域医療を育む情報誌

HEARTS

ハーツ

特集
急性期医療の中核施設

「兵庫医科大学病院 急性医療総合センター」がオープン！

救命救急センター…… 3
IVRセンター…… 5
集中治療センター…… 6
手術センター…… 7
周産期センター…… 9
アイセンター…… 11

急性期医療の中核施設

「兵庫医科大学病院 急性医療総合センター」がオープン！

地域の基幹病院として最先端の医療を担う特定機能病院であり、また災害拠点病院でもある兵庫医科大学病院に、このたび、緊急・重篤な状態にある急性期の患者さんを受け入れる急性期医療の中核施設「急性医療総合センター」がオープンした。センターの特徴について、太城力良病院長に聞いた。

太城（たしろ） 力良（ちから） 病院長

特徴は2つ。「急性期部門の集約」と「災害に強い建物」

急性医療総合センターの最大の特徴は、救急、集中治療、手術部門など急性期を担う部門を1つの建物に集約したことです。これにより、診療科を越えた複合的な治療もスムーズに行えるようになり、迅速な処置やチーム医療が求められる急性期医療において、これまで以上の連携強化につながると期待しています。

また、兵庫医科大学病院は、災害時の地域医療を担う「災害拠点病院」でもあります。いざという時にその機能を最大限に発揮できるよう、センターの建物自体を災害に強い構造にしているのも特徴です。センターのすぐ横には武庫川が流れていますが、水害が発生しても医療に支障をきたさないよう、通常は地階に設置する機械室を最上階に配置。また地震対策として、揺れに強い免震構造を採用しています。

チーム医療と連携の良さを活かせるフロア構成

急性期医療は、一分一秒が勝負です。重篤な疾患に迅速に対応するため、フロアの構成にも工夫を凝らしています。まず一階は、救急搬送されてきた患者さんを受け入れる救命救急センター。同じフロアに血管内治療などを行うIVRセンターを置くことで、心筋梗塞や大出血などに迅速に対応できるようにしています。二階にEICU（救急救命集中治療室）とCCU（冠動脈疾患集中治療室）、三階に手術後の集中治療を担う集中治療センターを配置。集中治療部門を集約することで、相互の応援も可能です。

また、五階のアイセンターは10号館にある眼科病棟と、六階の周産期センターは10号館の産科病棟とつながっており、病棟と手術室の行き来や急性期から回復期への移行がスムーズに行えるようにしています。

質の高い医療を提供し続けるために

センターでは、医師、看護師をはじめ、さまざまな職種のスタッフが、常に緊張の連続の中で働いています。質の高い医療を継続して行うためには、そんなスタッフたちが心身を健康に保ち、常にベストの状態で患者さんやご家族に接し、治療に臨むことが大切と考え、専用ラウンジを設けるなどスタッフのアメニティにも配慮しています。

兵庫医科大学病院は、2012年に開設40周年を迎えました。これからも、患者さんやご家族に寄り添った、安全で安心、満足度の高い医療を提供したい。その想いを胸に、兵庫医科大学病院ならびに急性医療総合センターを運営してまいります。今後ともご助言、ご協力をよろしくお願いいたします。

ハイクラスな環境と、徹底した安心のサポートで、良質な暮らしをお約束します。

住み慣れた街で安心して心地よい暮らしを

メディカルグループホーム

甲南山手

ご入居者様募集中

資料請求・ご見学・個別のご相談も承っております。

Aging in Place,Aging Yourself

メディカルグループホーム甲南山手は、千種会グループが運営する「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）です。
充実の介護体制のもと 9 名の少人数グループで慣れ親しんだ方々と毎日穏やかにお過ごしいただけます。

ハイクラスな住環境設備

カフェのある生活

明るく開放的なリビング

落ち着きのある居室

イングリッシュガーデンと足湯

会話も弾む団らんスペース

高野槇の浴槽で楽しむ入浴

厳選素材のお食事

厳選された食材を使用し、日本の食文化を大切にした四季折々のメニューをお楽しみいただけるよう、法人直営のセントラルキッチンを構え調理を行っております。

徹底した医療介護体制

ご希望により在宅療養支援診療所の医師との協力医療体制により 365 日・24 時間オンコール対応が可能です。また、「認知症介護実践研修」などの研修を受けたスタッフがグループ法人内の精神科医師と協力し、皆様の症状改善に努めてまいります。

利便性の高い立地　JR 神戸線「甲南山手駅」より徒歩 7 分

神戸市東灘区本山中町 1-15-7

ご入居条件

認知症の診断を受けた方
要支援 2、要介護 1～5 の介護認定を受けた方
ご本人の現住所が神戸市内の方

■ 施設概要
●法人名 / 社会福祉法人千種会●名称 / メディカルグループホーム甲南山手●類型 / 認知症対応型共同生活介護●併設 / デイサービスセンター●開設年月日 / 平成 25 年 4 月●敷地面積 /489.21 ㎡●延床面積 /978.53 ㎡●居室数 /2 階 9 室・3 階 9 室・計 18 室（全室個室）●居室面積 /14 ㎡●居室標準設備 / トイレ、洗面化粧台●その他共用部 / リビング、ダイニング、浴室、カフェ、屋上園庭、足湯

お申込み・お問合わせ・資料請求
入居相談センター
9:00～18:00（土・日・祝含む）
0120-658-793（ろうごは ちくさ）
または TEL078-441-0001（特別養護老人ホーム甲南山手内）
【法人概要】社会福祉法人千種会　〒658-0014　神戸市東灘区北青木 1-1-3
神戸市東灘区を中心に特別養護老人ホームやデイサービスセンターなどを運営しています。
●写真は「メディカルグループホーム甲南山手」の施設の一例、イメージです。●記載情報は 2013 年 3 月現在のものです。

chikusakai group
千種会　検索
http://www.chikusakai.jp
詳細はホームページでもご覧頂けます。

救命救急センター

専門分野を持った医師が24時間対応

急性医療総合センターの一階および二階に設置されているのが、救命救急センターだ。

地域の救急医療体制は、厚生労働省により傷病の重症度に応じて「初期」「二次」「三次」の階層に分けた整備が行われている。兵庫医科大学病院は、三次救急医療機関として、二次では対応できない重篤な救急患者や、初期・二次救急医療施設からの救急患者を受け入れ、救命措置や高度な医療を24時間体制で提供している。

救命救急センター
小谷（こたに） 穣治（じょうじ）主任教授

兵庫医科大学病院の救命救急センターへの搬送の依頼は、問い合わせ、救急救命士処置の電話指示を合わせて年間約2000件。内訳は、交通事故や労働災害などによるけがなどの外因性疾患が45％、病気などの内因性疾患が55％となっており、幅広い疾患に対応しなければならない。救命救急センターの小谷穣治主任教授は「医師がそれぞれ救急に加えて、別の専門分野を持っているうえ、場馴れしているスタッフが多いのが特徴です」と話す。小谷主任教授も消化器外科医として15年のキャリアを持ち、一般外科、消化器外科、内視鏡治療などの指導医・専門医でもある。

新しい設備と強い連携で安心

急性医療総合センターでは、最大5人の患者さんを同時に受け入れることが可能だ。「血管内治療などを行うIVRセンターが同じフロアにありますし、同じ建物の中にある手術センターや周産期センターとエレベーターで直結しており、迅速に対応できるので安心です」と小谷主任教授。「兵庫医科大学病院は、すべての領域に対応できる総合病院であり、加えて診療科を越えて医師やスタッフの連携が大変強い。最近の高齢化社会を反映して、いくつかの疾患が複合している患者さんが多くなっていますが、そのような場合でも、効率が良く質の高い治療ができます」と話す。

初療室

また、特別なベッドやシャワー装置などを備え、重度の熱傷（やけど）や広範囲におよぶ熱傷の処置を行う熱傷治療室や、放射性物質や生物化学物質の汚染に対応する感染毒物洗浄処置室も設置しており、より幅広い対応ができるようになっている。

熱傷治療室

災害拠点病院としての役割

兵庫医科大学病院は災害拠点病院にも認定されており、救命救急センターの担う役割は大きい。阪神・淡路大震災やJR福知山線脱線事故などに対応した経験を活かし、十分な体制を整えるとともに、地域と連携した訓練なども行っている。また、専門的な訓練を受けたDMAT（ディーマット：災害派遣医療チーム）を組織しており、東日本大震災の際には、厚生労働省の要請を受けて現地入りし、被災地で医療活動を行った。

「災害時の初期救助は一般の方が担うことが多い。救助隊や救急車が到着するまでに、最適な行動・処置を行ってもらえるよう、知識習得のための講習や啓蒙も大切だと考えています」と話す小谷主任教授は、忙しい臨床の合間を縫って全国での講演や研修に走り回っている。

EICU・CCU

迅速な治療が求められるCCU

急性医療総合センターの二階には、EICU（救急救命集中治療室）およびCCU（冠動脈疾患集中治療室）がフレキシブルに運用する病床20床と一般病床24床が設けられており、救命救急センター初療室での処置後、集中治療が必要な患者さんはここに入院することになる。

急性心筋梗塞、不安定狭心症といった、心臓に関わる重篤な疾患を受け入れるのがCCU。日本人の死因第二位を占める心筋梗塞は、冠動脈が詰まって血行が途絶えてしまうことによって起こるため、どれだけ早く血流を再開できるかが救命のカギとなる。治療上では、発症から血流再開するまでの時間が120分以内、病院に到着してから90分以内が推奨されているが、これは、時間が経てば経つほど生命が危険にさらされるほか、障害や後遺症に結びつくことも多いため。分単位の対応の早さが、命と治療後のQOL（生活の質）に大きく影響する。

その点センターには、こうした緊急性の高い疾患に素早く対応できる機能が充実していると、CCU部長を兼任する内科 冠疾患科の大柳光正主任教授は話す。「患者さんが最初に運ばれてくる初療室と、カテーテル治療を行うIVRセンターが同じフロアにあるので、初療室での検査で心筋梗塞だと判明した場合、ただちにIVRで治療を行えます。さらに、そのすぐ上の二階がCCUとなっており、医師はもちろん、患者さんの移動もスピーディーに行うことができます」。

内科 冠疾患科、CCU（兼）
大柳（おおやなぎ） 光正（みつまさ）主任教授

地域医療の中核施設として

心肺停止による兵庫医科大学病院への救急搬送は、年間およそ200件。「こうした患者さんの5～6割が心筋梗塞。早急に適切な治療を行えば、歩いて帰ることもできます」。時間との戦いである心筋梗塞にとって、CCU、救命救急、IVRがほぼ同じ場所にあることは、命を救い、早期の社会復帰を実現するうえで、非常に重要なポイントとなる。また、西宮市消防局とともに救急車内にビデオカメラと心電図検査機器を搭載し、病院に到着する前に患者さんの病状を判断する伝送システムを導入するなど、地域と一体となった取り組みも進めている。

急性医療総合センターが地域の救急医療の中で果たす役割は大きい。救命救急センターには研修室が設置されており、地域の救急隊との症例検討会や講習会なども積極的に行っている。救命救急センターの小谷主任教授は「三次救急である兵庫医科大学病院の救命救急センターは、地域医療の最後の砦（とりで）なんです」と力を込める。「できる限り救急患者さんを受け入れるため、地域医療機関との連携をさらに深め、役割を果たしていきたいと思います」。

IVRセンター

IVRとは？

IVR（インターベンショナルラジオロジー）とは、X線透視やCT、超音波、MRIなどの画像ガイド下で、カテーテルや針を用いて治療する方法を指す。その種類は多岐にわたるが、血管造影下で、脳血管や心・循環器系をはじめ、肝動脈、腎動脈などの腹部の動脈を対象に拡張術や塞栓術などの血管内のカテーテル治療を行う血管系IVRと、病変の一部を針で採取する画像ガイド下生検や経皮的ラジオ波焼灼療法、ペインクリニックにおける神経ブロックなど、針などを用いて治療を行う非血管系IVRの大きく2つに分類される。例えば、狭くなった血管にステントと呼ばれる網状の金属の筒を留置して血流を改善したり、動脈瘤の破裂を予防するためにコイルで塞栓したりといったカテーテル治療は血管系IVRに属し、テレビなどでご存じの方も多いだろう。

放射線科
放射線医療センター（兼）、IVR診療部（兼）
廣田 省三（ひろた しょうぞう）主任教授

充実した設備のIVRセンター

IVRセンターがあるのは、急性医療総合センターの一階で、救命救急センターの初療室と同じフロア。IVRは、狭心症などの循環器系疾患の治療や、大量出血時の緊急塞栓術など、救急医療でも大きな役割を担うためだ。ここには4つのIVR室が設置されている。放射線医療センター長でIVR診療部長を兼任する放射線科の廣田省三主任教授によると、この4室はそれぞれ役割が異なるという。「4つの部屋のうちの1つには、IVR・CTと呼ばれる血管造影装置とCTが合体したものが設置されていて、血管系・非血管系両方の治療ができます。また、バイプレーン血管撮影装置と呼ばれる脳血管に特化した検査や手術ができる装置が設置された部屋もあります。この装置は、正面および側面の画像を同時に見ることができるもので、より効率の良い治療が行えます」。また、心臓の診断とカテーテル治療専用の血管撮影装置、全身に適用できる多目的血管撮影装置があり、患者さんに合わせた細かい対応ができるようになっている。

IVR治療の特長とは

IVR治療は、患者さんへの負担が少ないのが大きな特長だ。手術のほとんどが局所麻酔によって行われるので患者さんは意識があり、手術中に何か不安を感じれば看護師・医師に話すこともできる。所要時間も1～2時間と短いものが多い。また、体にメスを入れないため回復も早く、入院期間も短くて済む。「私たちが常に目指しているのは、患者さんの心身に負担が少なく、そしてできるだけ完全な治療を行うこと。元気になった患者さんの嬉しそうな表情を見ることがスタッフの喜びです」と話す廣田主任教授は、日本IVR学会の副理事長とアジア太平洋IVR学会の理事長も務めており、門脈圧亢進症に伴う胃静脈瘤や難治性腹水などの治療や、肝細胞がんの経カテーテル治療などのパイオニアでもある。「兵庫医科大学病院は、IVR治療において兵庫県下で最高レベルの技術と設備を有しています。IVRの適応の患者さんは安心して受診してください」。

IVRセンター

集中治療センター

手術後の全身管理を担う集中治療センター

手術後の高度な全身管理が必要とされる患者さんや、病棟で急変した患者さんの集中治療を行うのが、三階の集中治療センターだ。手術センターのすぐ階下にあたり、手術後の患者さんをスムーズに集中治療室に運ぶことができる。

集中治療センターのICUは14床。「生きていくうえで不可欠な、自律神経、内分泌、免疫という体の三本柱のバランスが、大きな手術や大きなけが、内臓疾患などで、うまく働かなくなることがあります。それをサポートし、自分でバランスが取れる状態まで回復させるのがICUの役割です」と話すのは、ICUの西 信一（にし しんいち）主任教授。集中治療専従の医師を中心に、看護師、理学療法士、作業療法士、臨床工学技士、歯科衛生士など多くのスタッフがチームとなり、各科と協働して手術後の患者さんのケアを行う。

ICU
西 信一（にし しんいち）主任教授

また、ICUと一般病床の中間的な役割を果たすHCU（ハイケアユニット）が24床新設され、中等症の患者さんの治療・回復にあたっている。

安全・安心を支える縁の下の力持ち

「集中治療センターの役割は、患者さんが安心して手術を受けたり、入院したりできるよう、病院の安全と安心を支えることです」と西主任教授。医療の進歩により、合併症のある患者さんでも、比較的安全に大きな手術を受けられるようになった。「しかし、手術が終わった後のICUがしっかりしているからこそ大学病院ならではの難しい手術でも安心して受けられる。手術の成功の一端を、ICUも担っているのです」。医療の進歩に伴って、手術における技術や機器もどんどん新しくなる。しかし、それらが導入される場合には、患者さんに万が一のことがないよう、慎重なサポート体制が必要だ。最先端医療の導入においても、安全面で支えるICUの役割は大きい。

また、兵庫医科大学病院には、呼吸ケアチーム（RST）、感染対策チーム（ICT）、栄養サポートチーム（NST）、褥瘡対策チーム、緩和ケアチーム、エコーガイド下CVC挿入推進チーム、精神科リエゾンチームなどがあり、診療科の垣根を越えて横断的に活動しているが、これらのチームが、医療安全の面で果たしている役割も大きい。西主任教授も集中治療医として、呼吸ケアチームやラピッドレスポンスチーム（急変時の対応チーム）の中心となって活動しており、集中治療センターを拠点に、病院全体の安全・安心を支えている。

ICU

集中治療への誇りと自信

しかし、「集中治療が大学の学科目としてあるのは、兵庫医科大学と自治医科大学の2つだけ」と西主任教授。学科として重要視している大学はまだ少ない。また、集中治療は厚生労働省が定める広告可能な診療科にも入っていない。日本集中治療学会の理事でもある西主任教授は「集中治療は、手術のレベルの高さと同じくらい重要。安心して病院を選んでいただくためにも、社会的な位置づけを変えていきたい」と意気込む。集中治療に誇りと自信を持った言葉である。

手術センター

患者さんへの負担が少ない手術を目指して

急性医療総合センターの四階および五階に設置された手術センターは、最新の機器を備えた14の手術室のほか、手術に使用する医療器械や医療材料の洗浄・滅菌を行う中央滅菌室などで構成されている。

兵庫医科大学病院手術センターでは、年間約6200件の手術を行っている。手術センター長である上農喜朗教授によると、「すべての専門科がそろった総合病院であり、手術内容は多岐にわたります。また、専門家が協力して行う手術や、先進医療も含めた最先端の医療を行っているので、難易度の高い症例が多いのが特徴です」。

そのような状況の中、手術センターに新設されたのがハイブリッド手術室だ。これまで、カテーテルを用いたIVR治療はアンギオ室（血管造影室）で、外科手術は手術室で、それぞれ別個に行われてきた。ハイブリッド手術室では、カテーテル治療と外科手術の両方を一度に行うことができるため、一度の麻酔で患者さんを移動させることなく、短時間で必要な治療が実施できる。また、大動脈瘤などハイリスク症例のカテーテル治療において、万が一の場合すぐに外科手術に変更することができる。上農教授は「ハイブリッド手術室の導入により、より身体に優しい安全な治療が可能となりました」と説明する。入院期間も短くなるなど、患者さんの身体的、経済的な負担が軽くなるのである。

ハイブリッド手術室

内視鏡手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ』

兵庫医科大学病院では内視鏡治療に積極的に取り組んでおり、最新鋭の手術支援ロボット『ダ・ヴィンチ』も導入している。手術支援ロボットを用いた手術は、患者さんの腹部に開けた小さな穴から内視鏡と手術器具を取り付けたロボットアームを挿入し、医師は離れた場所から3D（立体）映像を見ながらコントローラでアームを操作して行う。開腹手術より低侵襲で手術を実施することができ、通常の腹腔鏡手術よりも広い視野で、立体的に奥行のある鮮明な映像を見ながら手術ができるのが特徴だ。また、ロボットアームは人の手の動きに手ぶれ補正を施し、微細な動きに変換するので、緻密な手術を行うことができる。日本では、2012年4月より『ダ・ヴィンチ』による前立腺がんの全摘出手術が健康保険適用となっている。

手術センター
上農（かみのう） 喜朗（よしろう）教授

医療安全の取り組み

「手術センターの運営にあたって、最も大事なのが医療安全です」と語る上農教授は、日本医学シミュレーション学会の副理事長・事務局長を務めており、医療安全セミナーや、医学シミュレーションによるトレーニングなどを院内外で積極的に行っている。「手術室内で起こり得るさまざまな状況を想定した実践的なトレーニングを行うなど、日頃から安全管理を心がけています」。

手術センター内には、シミュレーター室があり、内視鏡シミュレーター・気道管理シミュレーター・高機能患者シミュレーター・『ダ・ヴィンチ』シミュレーターを設置している。常に質の高い安全な手術を行うため、多くの医師や看護師がこの設備を利用して手技を磨いている。

内視鏡手術支援ロボット ダ・ヴィンチ

質の高い医療を提供するために

手術センターにおける「質の高い安全な医療」は、手術を行う医師、周術期看護を専門とする看護師、術中の管理を行う麻酔科医だけでなく、臨床工学技士、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、洗浄滅菌業務、高度清掃業務、物流管理業務など、多くのスタッフが協力して手術を実施する「チーム医療」によって支えられている。緊張の続く医療現場で質の高さを継続するためには、効率的な運用管理が欠かせない。兵庫医科大学病院の手術センターでは、全館での電子カルテ導入に5年先駆けて2008年から電子記録の運用を開始。血圧・心拍数などの経時的な生体情報の記録やカルテ記載などの時間を減らし、事務作業の負担を軽減することによって、患者さんと関わる時間を増やすための取り組みを行ってきた。

急性医療総合センターの五階には、スタッフが休憩する専用ラウンジと一体となったカンファレンスルームと、明るくオープンな打ち合わせ室を設けている。「スタッフ同士がリラックスした雰囲気でコミュニケーションを取ることで、チームとしての結束力と集中力を高めることができ、患者さんに満足していただける医療につながるはず」と上農教授。質の高い医療を提供するためのさまざまな工夫と取り組みが続けられている。

カンファレンスルーム

周産期センター

専門科との連携で多様な出産に対応

周産期センターは、合併症のある妊娠や、重症妊娠中毒症、切迫早産など高いリスクを伴う妊娠・出産に対応する施設。兵庫医科大学病院は、兵庫県が認定する「地域周産期母子医療センター」として、多くの妊産婦を受け入れている。

「悪性腫瘍を合併した妊娠や、妊婦さんの高年齢化に伴うリスクの高い出産などは年々増加する傾向にあります。兵庫医科大学病院は多くの専門科がある総合的な大学病院ですので、各科と連携を取りながら多様な出産に対応できるのがいちばんの特長です」と、2013年1月に着任した産科婦人科の柴原浩章主任教授。

産科婦人科
柴原 浩章（しばはら ひろあき）主任教授

周産期センターは急性医療総合センターの六階に設置されており、手術センターや救命救急センターなどと同じ建物の中に集約されたことで、これまで以上にスムーズな連携と迅速な対応ができるようになっている。

「例えば、産後の出血が多かったり、血圧が高いために脳出血を起こしたりといった、救命救急センターでの対応や緊急の手術が必要になるケースもあります。そのような万が一の場合にもすみやかに処置できるので、安心です」。

産前から産後まで視野に入れた新生児治療

周産期センターには、一般病床24床のほか、妊婦の集中治療室であるMFICU（母体胎児集中治療室）6床、急性期の新生児を集中治療するNICU（新生児の退院準備を含めた継続治療を行うGCU（新生児治療回復室）18床が設置されている。このうち、一般病床とMFICUは産科婦人科、NICU・GCUは小児科が担当する。

小児科の皆川京子助教は、「兵庫医科大学病院のNICUは、阪神一円から未熟児やハイリスク児が集まる周産期医療の基幹施設となっています」と話す。年間およそ200人を受け入れているが、うち70人ほどは人工呼吸器を使用する重症の新生児で、中には出産時体重が500グラム未満という超未熟児もいるという。

こうした新生児を受け入れるうえで最も心強いのは、兵庫医科大学病院の産科婦人科と小児科との連携の良さだ。母親、新生児ともに治療が必要なケースも多い周産期センターでは、産前から産後までのトータルケアが不可欠となるが、産科婦人科の分娩室、産科手術室、MFICUなどの施設と小児科のNICU、GCUが同フロアに配置され、両科のより強い連携とスムーズな業務を助けている。加えて、「産科病棟と周産期センターが渡り廊下でつながっているので、小児科も赤ちゃんが生まれる前から継続してお母さんと関わりやすい」と皆川助教は話す。

また、NICUと小児外科との協力・連携が強い点も、特長の1つ。食道閉鎖症、腸閉鎖症など緊急の対応が必要な疾患を持って生まれてきた新生児にも、すぐに手術ができる体制が整っているので、安心だ。

NICU

快適な空間をつくる取り組み

新しいセンターには、妊婦さんと赤ちゃんが気持ち良く過ごせるよう、さまざまな工夫が凝らされている。

「大学病院での出産に不安を抱えている方も多い。妊婦さんやご家族の緊張が少しでも和らげばと思います」と柴原主任教授は話す。

周産期センターの内装デザインは、これまでの無機質なイメージを一新。温かさを感じる色調にしたり、NICUなどの床や壁の一部を木目調にしたりして、落ち着いた柔らかなイメージを作り出している。

陣痛室では少しでもリラックスできるよう、パーテーションを使って準個室空間となるように配慮している。また、NICUでのご家族の面会を24時間可能としているほか、出産後、赤ちゃんとお母さんができる限り同じ部屋で過ごすことができるよう、母児同室の取り組みも積極的に進めている。退院を控えた母子が過ごす「外泊準備室」は2ルーム用意。在宅での育児にスムーズに移行できるよう支援している。

授乳室

小児科
皆川 京子（みながわ きょうこ）助教

妊婦さんと赤ちゃんに寄り添う医療

妊産婦の高年齢化に伴い、染色体異常などのリスクが高まる中、兵庫医科大学病院の産科婦人科では、外来での遺伝カウンセリングなどを含む出生前診断にも力を入れている。これは、超音波（エコー）検査や羊水検査などで胎児の異常の有無などを検査するもので、羊水検査は年間300例にものぼる。

「出産に不安を抱えたり、不妊治療でたいへんな思いをされているご夫婦はたくさんいらっしゃいます。そのような方々に少しでも寄り添っていきたい」と柴原主任教授。「出産後、ご家族が赤ちゃんと対面して涙を流されているのを見ると、本当に嬉しくなります」と笑顔で話す。

小児科の皆川助教は「胎児期から出産、誕生、そして退院後まで継続して関わっていけるのが、兵庫医科大学病院周産期センターの最大の特長。赤ちゃんに疾患があってもご家族が安心して暮らしていけるよう、在宅コーディネーターなどとも協力し、退院後のお母さんのメンタルケアや育児支援も含めてサポートしていきたい」と話す。また今後は、新生児の蘇生講習などを通じて、地域連携をさらに深めていきたいという。

より安心で、より快適な周産期センターへ。スタッフの想いとともに、取り組みは続く。

アイセンター

5F

あらゆる眼科手術に対応

兵庫医科大学病院のアイセンターには、3つの手術室が設置されており、切開創を極小にできる硝子体手術装置や、ほとんど出血させずに切開できる炭酸ガスレーザー、手術用顕微鏡など、最新の設備を備え、より短い時間で、さらに正確な手術を行えるようになっている。

白内障治療のほか、眼瞼（がんけん）手術、眼窩（がんか）腫瘍の摘出、涙道手術、眼外傷手術など、実に多岐にわたる年間3500例以上の手術の中には、合併症を持つ患者さんの手術など、他の科との連携が強い兵庫医科大学病院の特長を活かした難易度の高い手術もある。また、特に斜視の手術件数は日本一を誇り、全国から患者さんが来院する。

アイセンターリカバリー室

眼科、アイセンター（兼）
三村（みむら） 治（おさむ） 主任教授

眼科手術を恐れないで

眼科手術というと、手術の様子が見えてしまうのではないかなどと不安になるが、大丈夫なのだろうか。眼科の三村治主任教授にうかがうと、「カバーをかぶせるので、手術の様子が見える心配はありません。場合によっては精神を落ち着かせるための点滴を打ったりして、患者さんの恐怖心を抑える工夫をしていますから、ご安心ください」と答えてくれた。

その上 眼科手 は 短時間で終わるものが多いという。たとえば白内障や斜視の手術は15～30分程度で終わり、入院期間も2～4日程度と短い。ただ、そのため軽く考えてしまう患者さんも多く、注意事項を守らずに回復に時間がかかってしまうケースもあるという。「短時間といっても、実際は非常に高度な手術なので、手術後の注意点はしっかり守っていただければと思います」。

患者さんの満足度向上を目指して

三村主任教授のポリシーは、患者さんの満足度が高い手術を行うこと。一般的には傷跡をなるべく残さないことや、症状改善度の高さなどが求められるが、それだけではいけないという。「患者さんの希望にできる限り応じられるように、日ごろから手技の練習や研究を続けています」。また、「例えば、所要時間が短いため、眼科では局所麻酔で行われる手術が圧倒的に多いのですが、手術への恐怖感から全身麻酔を希望する患者さんもおられます。そういった個々の要望にも可能な限り応えたいと考えています」と話す。

急性医療総合センターの五階に位置するアイセンターは、眼科病棟と直結しているので、移動がしやすく患者さんの利便性も向上している。さらに、病棟とアイセンターを同じ看護師で一体的に運用しているため、病棟で担当した看護師が手術に立ち会える。これにより、患者さんの希望を汲み上げやすくなると同時に、申し送りが不要となり、効率化をはかることができる。

今後はより研鑽（けんさん）を積んで、さらに進歩を続けたいという三村主任教授。「医療機器や技術は、日々進歩しています。新しい術式の開発にも力を入れ、より患者さんのためになる、優しい術式を世界へ発信していきたいと思います」。

アイセンター手術室

じぶんの色
きっと見つかる。

WE SET
SWEET
心地よい療養環境・ケアの提供を目指しています

SWEETとは、私たちが心に備えたいと願う5つの要素の頭文字。
看護部ではこのキャッチフレーズのもと一丸となって、チーム医療を支えています。

Sincerity 誠実（な行動）
Warm あたたかい（対応）
Evidence 根拠ある（実践）
Ethics 倫理（的感性）
Technique （確かな）技術

看護師・助産師募集

兵庫医科大学病院
人材対策室
〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号
E-mail jinzai@hyo-med.ac.jp FAX 0798-45-6524

フリーダイヤル 0120-456-199
■看護師・助産師採用ホームページ
http://www.hosp.hyo-med.ac.jp/nursing/recruitment/
兵庫医科大学 看護師 検索

NEWS

兵庫医科大学病院特別病棟

より良い療養環境を提供させていただくため、1号館12階に特別病棟を設けています。

病室はすべて個室で、液晶テレビ・DVDプレーヤー・冷蔵庫・電子レンジを完備し、他病棟の病室内ではご遠慮いただいている携帯電話、パソコンの利用が可能です。

また、セキュリティーも充実しており、病棟へは専用のカードで出入りしていただきます。

ゆっくりとおくつろぎいただけるよう、新聞や自動販売機などを備えたデイルームもあります。お部屋やデイルームからの眺望は素晴らしく、静かでゆったりとした雰囲気の中で療養していただけます。

特別室ご希望の方は、担当医師・病棟スタッフにお申し出ください。詳しい設備・環境・見学は1号館1階入院受付までお問い合わせください。

お問い合わせ先
0798-45-6175

兵庫医科大学病院 PET センター

先進的で高度な医療を推進する兵庫医科大学病院に、がんの早期発見や再発・転移などの診断に力を発揮するPETセンターが設立されてから、7年目となりました。

PET/CT検査は最先端の放射線技術を結集した検査方法であり、がんの診療に欠かせない検査として発展しています。私たちはこれまで蓄えた豊富な知識と経験を基に、精度が高い新しい検査法・治療法の導入、被曝の低減、サービスの向上に取り組んでいきます。特定機能病院として、地域の医療機関や先生方と連携してがん診療の一翼を担い、がんの制圧をめざして悪性腫瘍と闘うすべての人を支えていきます。

ご予約・お問い合わせ先
0798-45-6123（直通）
受付時間:月～金　8:30～16:45　/ 土　8:30～13:30
（第2・第4土曜日、日曜日、年末年始及び11月22日を除く）

電子カルテが導入されました

平成25年2月25日より電子カルテが導入されました。

これに伴い、1号館1階の初診受付北側に「自動再来受付機」と「保険証確認コーナー」を新設し、最新予約のある患者さんの受付と、保険証の確認を行っています。

また、各診療科には「呼出表示盤（モニター画面）」を設置し、患者さんの呼び出しを行っています。（一部の診療科を除く）

バックナンバーは、兵庫医科大学のホームページよりご覧いただけます。
http://www.corp.hyo-med.ac.jp/public/hearts.html
または、兵庫医科大学　ハーツ　で検索してください。

兵庫医科大学医療情報誌
「HEARTS（ハーツ）」
Vol.8

＜発行＞
学校法人兵庫医科大学
〒663－8501 西宮市武庫川町1番1号
＜編集＞
学校法人兵庫医科大学総務企画部　広報課
＜発行日＞
2013年4月25日

HEARTS Vol.9は、2013年10月の発行予定です。

病院ボランティアをしてみませんか？

ボランティア募集中

当院では、地域に開かれた病院の実現を目指して「病院ボランティア」を募集しています。病院ボランティアに関心があり、優しさと何事にも前向きに取り組む姿勢のある方、ご連絡をお待ちしています。

主な活動内容・活動日

●初診手続きの補助
毎週月～金曜日　9:00～11:00
初めて来院された外来患者さんへ受付の補助をしていただきます。

●ガーゼたたみ等
第2・4火曜日、第3水曜日　9:00～11:00
外来診療で使用する材料（ガーゼたたみ等）を作成していただきます。

●総合案内補助（男性歓迎）
毎週月～金曜日　9:00～11:00
来院された患者さんへの補助（エスコート等）をしていただきます。

●リネン（シーツ）交換
毎週水曜日　9:00～11:00
10号館7、8、9階病棟のリネン（シーツ）の交換をしていただきます。

お問合せ先：兵庫医科大学病院　地域医療・総合相談センター　（1号館附属棟 1階）
TEL 0798-45-6001

夙川苦楽園口 レジデンス
SHUKUGAWA KURAKUENGUCHI RESIDENCE

夙川苦楽園口 レジデンス

関西初、野村不動産と三菱地所レジデンスがお贈りする
優美なるレジデンス。

外観完成予想図

モデルルームオープン

※掲載の外観完成予想図は設計図青を基に描いたもので、形状・仕上・植栽・色彩等は異なります。また、周辺の建物等についても省略しております。尚、四季の植栽計画を同時に表現したものであり、特定の季節の開花状況を示すものではありません。竣工時の植栽は完成予想図程度には成長しておりません。予めご了承ください。

フラットアクセス 阪急甲陽線「苦楽園口」駅徒歩8分 | 阪急神戸線「夙川」駅へ1駅2分 | 阪急甲陽線「苦楽園口」駅から(「夙川」駅で特急に乗り換え)「梅田」駅へ18分

※掲載の所要時間は日中平常時のもので、乗り換え、待ち時間等は含まれておりません。また、時間帯により異なります。

全35タイプ、72.75㎡～99.65㎡(3LDK・4LDK)の豊富なプランバリエーション。

■予告物件概要●名称／夙川苦楽園口 レジデンス●所在地／西宮市神園町11−8、11−9、11−11(地番)●交通／阪急甲陽線「苦楽園口」駅徒歩8分●地域・地区／第一種中高層住居専用地域●地目／宅地●敷地面積／4,858.96㎡●構造・規模／鉄筋コンクリート造 地上6階●建築確認番号／第ERI12045848号(平成24年11月5日)●総戸数／83戸●予定販売価格(税込)／未定●間取り／3LDK+N、4LDK+N●住居専有面積／72.75㎡～99.65㎡●バルコニー面積／7.61㎡～23.21㎡●分譲後の権利形態／各戸専有面積割合による所有権の共有●管理形態／区分所有者全員で管理組合結成後、野村リビングサポート株式会社に委託予定●建物竣工予定時期／平成25年12月上旬●入居予定時期／平成26年1月下旬●事業主(売主)・販売提携(代理)／野村不動産株式会社[国土交通大臣免許(12)第1370号・(一社)不動産協会会員・(公社)首都圏不動産公正取引協議会加盟]〒550-0011大阪市西区阿波座1丁目4番4号野村不動産四ツ橋ビル15階、三菱地所レジデンス株式会社[国土交通大臣免許(13)第408号・(一社)不動産協会会員・(公社)首都圏／近畿地区不動産公正取引協議会加盟]〒530-6015大阪市北区天満橋1丁目8番30号OAPタワー15階●設計・監理／[意匠]株式会社日建ハウジングシステム、[構造・設備]株式会社熊谷組関西一級建築士事務所●施工／株式会社熊谷組 関西支店●販売予定時期／平成25年4月下旬※販売につきましては1回もしくは複数回次にわたる期わけ販売か、現在決まっておりません。販売戸数、価格等につきましては今後行う予定の本広告にて明示します。専有面積は全戸を対象として表示しております。

予告広告

※本広告を行うまでは、契約又は予約の申込みに一切応じられません。また申込みの順位の確保に関する措置は講じられません。予めご了承下さい。販売予定時期／平成25年4月下旬予定

事業主(売主)・販売提携(代理) 野村不動産
事業主(売主)・販売提携(代理) 三菱地所レジデンス

苦楽園83 検索
kurakuenguchi83.com

お問い合わせは 0120 Free Dial 0120-083-007
営業時間／10:00am～18:00pm (火・水曜定休)携帯電話・PHSからもご利用いただけます。